

令和8年8月5日（水）【秩父市長 職員向けメッセージ】

皆さん、おはようございます。

はじめに、7月28日に発生した熊本地震により被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げますとともに、亡くなられた方々に哀悼の意を表します。一日も早い復旧・復興を心からお祈りいたします。

今回の災害の影響は、今後も長期化する可能性が高いと感じています。私たち秩父市としても、被災地の状況を注視しながら、必要な支援を適切に行っていきます。

また、8月に入り、台風シーズンはこれから本格化します。私たちの地域においても、いつ災害が発生するかわからないという危機管理の意識を持ちながら、日頃の業務に取り組んでいただきたいと思います。

皆さんもご存じのとおり、7月21日には秩父市立病院で漏水事故が発生しました。本館4階のスプリンクラー配管の破断という予期せぬ事故でしたが、現場の職員の皆さんが自主的かつ迅速に判断し、行動してくださったおかげで、人命に影響が及ぶ事態を防ぐことができました。また、医療機器等への大きな被害も回避することができました。

さらに、多くの職員の皆さんが懸命に排水作業や復旧作業にあたり、その結果、翌日からは診療等を実施することができました。可能な限り医療提供を止めることなく、市民の皆さまに安心を届けることができたことは、病院職員の皆さんをはじめ、関係したすべての職員の皆さんの献身的な対応の賜物です。この場をお借りして、心から感謝申し上げます。

現在も一部施設では完全な復旧には至っておりませんが、必要な対策を着実に進め、一日も早い完全復旧を目指していきます。

今回の事故対応は、大変厳しいものでした。しかし私は、この困難を皆さんが力を合わせて乗り越えようとした経験は、必ず大きな財産になると確信しています。

組織は、順調な時だけでは強くなりません。困難や予期せぬ出来事を、一人ではなく仲間と力を合わせて乗り越えることで、組織はより強く、より多様な事案に対応でき、より信頼される存在へと成長していくと信じています。

これからも、さまざまな課題や困難があると思います。しかし、市民の皆さまの暮らしを守りきるという使命のもと、職員一人一人が互いに支え合い、力を合わせながら、前を向いて進んでいきましょう。

今月も暑い日が続くことが予想されます。皆さまにおかれましても心身ともにご自愛いただきながら、それぞれの役割に励んでいただければと願います。今月もどうぞよろしくお願いいたします。